

Google Workspace for Education

モバイル管理: エンドポイント デバイス (Android、iOS) のセキュリティ確保

Google Workspace for Education の有償エディション ([Education Standard](#)、[Teaching and Learning Upgrade](#)、[Education Plus](#)) は、教育向けにカスタマイズされたエンタープライズ級のツールを備えており、革新的な学習環境の実現に役立ちます。ここでは、Android デバイスと iOS デバイスを管理するための対策をご紹介します。

Google Workspace for Education のご検討は初めてですか？

エキスパートが詳しくご案内しますので、[こちら](#)からお問い合わせください。

Google Workspace 管理者の方には、モバイル デバイスを管理するために以下のような基本的対策を行っていただくことをおすすめいたします。

- [高度なモバイル デバイス管理](#)を設定する
- iOS デバイスを管理する場合は、[Apple プッシュ証明書を設定](#)し、[組織所有の iOS デバイスをセットアップ](#)する
- インベントリに[組織所有のデバイス](#)を追加する
- [ゼロタッチ登録](#)を使用して Android デバイスをデプロイする
- [デバイス管理セキュリティチェックリスト](#)を確認する
- モバイル デバイスに[一般設定](#)を適用する
- [Android デバイス](#)に設定を適用する
- [iOS デバイス](#)に設定を適用する
- [特定のユーザーのデバイスを管理する](#)
- 管理対象デバイスを[承認](#)、[ブロック](#)、[ブロック解除](#)、[削除](#)する
- 組織の[モバイルアプリを管理](#)する
- 管理対象デバイスに関する[詳細を確認](#)する

